

2013年度 東京ビジネスデザインアワード 最優秀賞と優秀賞を発表

自動車用部品の生産加工技術が、 デザイン力で教育用玩具の商品開発へ展開！

東京都が主催し日本デザイン振興会が企画・運営をおこなう「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のもづくり中小企業とデザイナーの協働による新ビジネス創出を目的としたマッチング事業で、昨年度創設し今年で2回目となります。

去る1月29日(水)に東京ミッドタウンで開催された提案最終審査では、先にテーマ賞に選ばれた12組の企業とデザイナーへの表彰がおこなわれたほか、テーマ賞受賞デザイナーによる公開プレゼンテーションと審査をおこなった結果、最優秀賞1件、優秀賞2件が決定しました。

なお、これら3件を含めたテーマ賞の各デザイン提案については、テーマ企業との間で提案の事業化・製品化に向けて検討が始まっています。

「2013年度 東京ビジネスデザインアワード 最終審査結果」

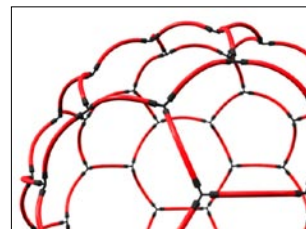
● 最優秀賞 (1件) 【賞金100万円】

美しく曲げられたパイプをつなぐ、大人も遊べる知育玩具

小関 隆一 (アートディレクター・デザイナー / RKDS)

テーマ: 世界最高レベルの“パイプ曲げ加工技術”

武州工業株式会社 (東京都青梅市末広町1-2-3)



● 優秀賞 (2件) 【賞金各20万円】

木地挽き技法の魅力を伝える、新たなブランド計画

山田 佳一郎 (デザイナー / KAICHI DESIGN)

テーマ: 自然に優しい工法、寄木の技術を応用した“木地挽き技法”

株式会社ラ・ルース (東京都渋谷区代官山町8-5)



異素材を組み合わせた、布のような新しい金網

松田 龍太郎 (プロデューサー / 株式会社 oiseau)、中西 香菜 (プロダクトデザイナー)、

土屋 勇太 (アートディレクター / 豊作ブランディング)

テーマ: 曲げ、折り、プレス、自由自在に成形可能な“金網加工技術”

石川金網株式会社 (東京都荒川区荒川5-2-6)



東京ビジネスデザインアワードについて

東京都内の高い技術力を持つものづくり中小企業から、デザイン力で更にビジネスが発展する可能性のある自社保有の技術や素材を「テーマ」として募集。そのテーマに対し、デザイナーから単に商品の姿かたちだけでなくテーマの新規用途開発を軸とした事業全体のデザインを公募します。有識者からなる審査委員会を設置し、企業からのテーマ、デザイナーからの提案とともに厳正な審査のもと選定を行ないます。企業テーマごとに各1件の提案が「テーマ賞」として選ばれ、さらに最終審査会において「最優秀賞」「優秀賞」を選出。提案実現の支援金として副賞(賞金)がデザイナーに贈られます。審査結果を広く発信するとともに、企業・受賞デザイナーへのアドバイスなど、事業実現のための継続的な支援をおこないます。なお、2014年度の東京ビジネスデザインアワードは本年5月頃にテーマを募集予定です。

※東京ビジネスデザインアワード HP にて、2月7日(金)14時より詳細情報を掲載します。<http://www.tokyo-design.ne.jp/award/>
※ロゴマーク等、画像のご提供については、下記の共同PR株式会社までお問い合わせください。

一般からのお問い合わせ先: 東京ビジネスデザインアワード事務局 (公益財団法人日本デザイン振興会 内)
担当: 鈴木、劉(りゅう) 電話: 03-6743-3777 tokyo-design@jidp.or.jp
報道関係のお問い合わせ先: 共同PR株式会社 担当: 宇津木、横山、渡辺
電話: 03-3571-5238 FAX: 03-3571-5380

参考資料：受賞提案の詳細

最優秀賞（賞金 100 万円）

小関 隆一（アートディレクター・デザイナー / RKDS）

提案名：美しく曲げられたパイプをつなぐ、大人も遊べる知育玩具

テーマ：世界最高レベルの“パイプ曲げ加工技術” 武州工業株式会社【青梅市】

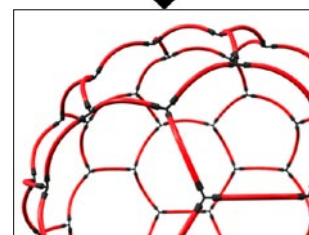
●受賞デザインの概要：

自動車用パイプ部品などを製造する武州工業株式会社。複雑な形状も加工でき、少量多品種の生産も可能な技術を活かした、玩具の提案。細いパイプを曲げてシリコン部品でつなぎ組み合わせる事で構造物を作っていく。



●審査講評：

企業独自の精緻な技術を主役にした魅力的な提案。教育・知育分野に展開することでメーカーの社会貢献活動ともなりうる。自動車部品の技術から玩具へと展開するアイデア、そして武州工業は自社商品が今回が初めての挑戦となり、デザインを活用したビジネスとしての飛躍度が高い。



優秀賞（2 件 / 賞金各 20 万円）

山田 佳一郎（デザイナー / KAICHI DESIGN）

提案名：木地挽き技法の魅力を伝える、新たなブランド計画

テーマ：自然に優しい工法、寄木の技術を応用した“木地挽き技法”株式会社ラ・ルース【渋谷区】

●受賞デザインの概要：

渋谷に本社、小田原に工場をもつ株式会社ラ・ルース。大量な商品が掲載されたカタログを見て山田氏がまず考えたのが「ブランドの整理」。元々企業が持つ特殊技術を活かした商品を軸に据えたリブランディングの計画となった。



●審査講評：

新しいものを作るのではなく、編集視点の提案が本アワードに新しい風を吹き込んだ。伝統の寄木技術を受け継ぐ会社で、地域全体の産業活性にも繋がる事業となる可能性が高い。また、技術の核となる部分は知的財産権を保護した上で、いままで隠してきた技法をあえてブランディングに活用していく点など、知財戦略の面でも注目度が高い。



松田 龍太郎（プロデューサー / 株式会社 oiseau）、

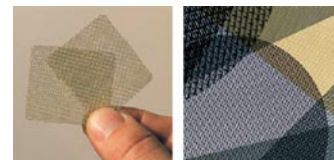
中西 香菜（プロダクトデザイナー）、土屋 勇太（アートディレクター / 豊作ブランディング）

提案名：異素材を組み合わせた、布のような新しい金網

テーマ：曲げ、折り、プレス、自由自在に成形可能な“金網加工技術”石川金網株式会社【荒川区】

●受賞デザインの概要：

様々な素材で様々な織り方ができる石川金網の技術を活かした、新しい素材の開発とブランディング。まるでテキスタイルのように、スタイリッシュに素材販売していくビジネスモデル提案。



●審査講評：

企業独自の技術をうまく活かした提案。更に技術の難題にチャレンジしていくことで、自社の技術進歩も期待できる。ブランドのデザインも素晴らしく、金片に「織」の部首を添えた造語がこのプロジェクトを体現している。金網業界ではいままでになかった取り組みで、B to B、B to C、どちらの展開も考えられビジネス的な発展が見込まれる。

